

シンポジウム

「建築物の減衰と振動 ―今どこまで解っているか、何が問題か」

＜主催＞ 日本建築学会
構造委員会 荷重運営委員会 建築物の減衰機構とその性能評価小委員会

建築物の減衰は、剛性や質量ほどその物理的性質が明確でないが、建築物の地震や風外力に対する挙動には少なからず影響を及ぼす。2000年に当小委員会の前身の小委員会から『建築物の減衰』が刊行されてから20年近くになるが、その間、減衰に関する多量のデータが蓄積され、新たな知見とともに、課題も挙がってきている。本小委員会ではこれらの内容を整理し、前書を引き継ぐ新たな書籍を出版する予定である。本シンポジウムではその概要を紹介し、皆様のご意見をいただく場としたい。

日 時： 2017年9月29日(金) 13:30～17:45
場 所： 建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

内 容（各講演の題目等は変更されることがあります）

司会：梶原浩一（防災科学技術研究所）
吉田昭仁（東京工芸大学）

1. 主旨説明 : 中村尚弘（広島大学）

2. 講演

- (1) 建物の振動特性に関する現状の課題 : 犬伏徹志（神奈川大学）
- (2) 地震観測に基づく最新の知見 : 伊藤真二（大和ハウス工業）
- (3) 震動台実験に基づく最新の知見 : 東城峻樹（竹中工務店）
- (4) 振動特性同定法の比較検討 : 肥田剛典（東京大学）
- (5) 実測減衰データベースの概要 : 佐武直紀（イー・アール・エス）
- (6) 一般建築物の減衰データベース : 扇谷匠己（長谷工コーポレーション）
- (7) シェル・空間構造の減衰 : 新宮清志（日本大学名誉教授）
- (8) 木質構造の減衰 : 宋 成彬（CTS Engineering）
- (9) 構造設計と減衰（1） : 平田裕一（三井住友建設）
- (10) 構造設計と減衰（2） : 近藤貴士（大和ハウス工業）

司会：曾田五月也（早稲田大学）

3. 総括質疑

4. まとめ : 中村尚弘（前掲）

記録：宮本泰志（構造計画研究所）

定 員：150名（申し込み先着順）

参 加 費：会員4,000円、会員外5,000円、学生2,000円（資料代2,000円含む、当日現金払い）

申込方法：本会 HP「催し物・公募」よりお申し込みください。 <http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=602207>

問 合 せ：事務局事業グループ 中村 Tel.03-3456-2057

※シンポジウムの動画配信（有料）も行っております（申込ページ：<http://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>）